

# まちづくり・地域興し論



## 第6講

エコツーリズム

講師 宮国薫子

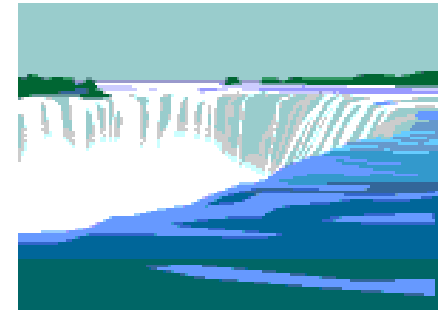


# ・ エコツーリズムとは

- 環境保全と地域経済の両立を狙った。
- 環境保護(エコロジー)と観光(ツーリズム)の合成語
- 2002年 エコツーリズム年
- 環境省「自然観境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方」
- 日本エコツーリズム協会(98年設立)「資源の保護＋観光業の成立＋地域振興の融合をめざす観光の考え方」

# 1. エコツーリズムとは

- マスツーリズム(mass tourism)の弊害より・・・
  - 物見遊山の団体旅行
  - 一度に大量に送客
  - 周辺地域への環境的弊害
  - 通過型・周遊型・団体客中心
- サステイナブルツーリズム( Sustainable Tourism)
- オルターナティブツーリズム (Alternative Tourism)



## 2. エコツアーの特徴

- 地域における貴重な**動植物の生態**や**生活文化・歴史**などをガイドから学びながら観察し、それらの保護への意識を高める。
- 企画・運営などを地域主導で行える。
- 例：トレッキング・ホエールワッチング・野鳥観察会・エコダイビング、流水ウォーク
- **ルールの策定**（外来種の持ち込み禁止・野生生物の採取禁止）
- **Interpretation**の実施
- エコツーリズムへの取り組みが地域資源に対する地元住民の理解を深め、地域への誇りを醸成する。



### 3. エコツアーリズムの展開 ①屋久島 (鹿児島県)



- 1993年 日本初の世界自然遺産

- 九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)「洋上アルプス」

- 年間雨量 4千~1万ミリ

- 亜熱帯・温帯・暖帯・温帯・亜高山帯

- ヤクシカ・ヤクザル・ヤクタネゴヨウ

- 人口 1万4千人

- 観光客年間30万人程度(93年より10万人増)



### 3. エコツーリズムの展開

#### ① 屋久島 (鹿児島県)



- 他地域に先駆けてエコツアーガイド (10人 → 200人)
- 1日コース 1万3千円強
- ガイドの稼働日数 年間150日
- 人口14,000人の島でガイド200人の新規雇用
- ガイド業の粗生産額は約2億円 (屋久島の新たな産業)



### 3. エコツーリズムの展開

#### ①屋久島（鹿児島県）



#### ● 問題

– 「縄文杉」(樹齢数千年)への訪問→  
歩道や登山道の荒廃

– ガイドの資格制度や許認可制度が  
なかった。

- ガイドの技量やエコツーリズムの認識に  
ばらつき

● 2004年「屋久島地区エコツーリズム  
推進協議会」

– 地元自治体が中心となって関係15  
団体による

● 2005年「屋久島ガイド登録・認定  
制度」

● <http://www.yakushima-eco.com/>



写真は上屋久町永田のいなか浜での産卵風景



## HOME

- ▲「屋久島ガイド」に案内してもらおう
- └ 「屋久島ガイド」って？
- └ 屋久島ガイド登録・認定制度
- └ 屋久島ガイドの取り組み紹介



## ▲ 屋久島やエコツアーリズムに関する情報

- └ 屋久島フィールド情報
- └ 屋久島へのアクセス
- └ 世界自然遺産屋久島
- └ 屋久島を学ぶ場所
- └ リンク集

## 島内のガイド向け情報

- + 屋久島ガイドになりたい
- + ガイド活動に関する情報

## 協議会について

- + **屋久島地区エコツアーリズム推進協議会とは**
- + 会長あいさつ
- + 設立趣旨
- + 協議会の取り組み
- + 関連資料

## 協議会からのお知らせ

- 各種お問い合わせ
- 当サイト利用上の注意
- プライバシーポリシー
- 2008/11/25
- サイドマップ

## 屋久島地区 エコツアーリズム推進協議会とは

「屋久島地区エコツアーリズム推進協議会」は、屋久島における固有の自然や文化にふれあう機会の提供、地域資源の保全と適正な管理、地域振興への貢献を同時に実現するというエコツアーリズムを確立することを目指し、島内の関係団体により設立されました。ガイドの登録・認定制度の立ち上げ、新たなツアープログラムの開発、特定地域における保全・利用方策の検討をまじめとしてエコツアーリズム推進に必要な事業を進めていきます。

設立年月日:平成16年9月2日

構成員: 林野庁屋久島森林管理署 署長  
 屋久島森林環境保全センター 所長  
 鹿児島県観光課 課長  
 鹿児島県環境保護課 課長  
 屋久島環境文化財団 事務局長  
 鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所 所長  
 屋久島農業協同組合 組合理事長  
 屋久島観光協会 会長  
 屋久島漁業協同組合 代表理事組合長  
 上屋久町商工会 会長  
 屋久町商工会 会長  
 屋久島森林組合 組合長  
 上屋久町 町長(副会長)  
 屋久町 町長(会長)  
 環境省屋久島自然保護官事務所 首席自然保護官

[▲ページトップへ戻る](#)



### 3. エコツーリズムの展開 ①屋久島 (鹿児島県)

①上屋久町または屋久町に2年以上滞在

②保険の完備

③救急法の受講

④世界自然遺産地域や自然公園法等及び各種法令に関する講習の受講

⑤基本的な屋久島の地域に関する講習の受講

⑥ツアー内容やガイド活動に関する情報の公開

⑦ガイド活動における屋久島ガイド共通ルールの遵守



### 3. エコツアーリズムの展開 ②大台ヶ原 (奈良県)

- 1936年 吉野熊野国立公園

- 日出ヶ岳 (1,695m)

- 年間5,000mm

- 我が国を代表する原生林や動物

- 西日本最大規模のブナ群落

- オオダイガワラサンショウウオ・カモシカ

- 1961年 大台ヶ原ドライブウェイ開通

- 1959年 伊勢湾台風 → 倒木

- 年間25万人

- 紅葉シーズン 10月 5~10万人

- ピーク時 1日当たり 数1,000人~10,000人



2008/11/25 林床植生の踏み荒らし → 原生林衰退の加速要因

2006年12月 大台ヶ原西大台地区を自然公園法より「利用調整地区」指定。

- 450 ha
- 1日当たりの立ち入り人数 (30人から100人<週末>)
- 1グループあたり的人数制限 (10人)
- 指定期間 (08年度 4月から11月 8ヶ月間)
- 入山のための指定認証機関への申請と立ち入り認定証 (1000円)

● 指定には土地所有者の合意が必要。

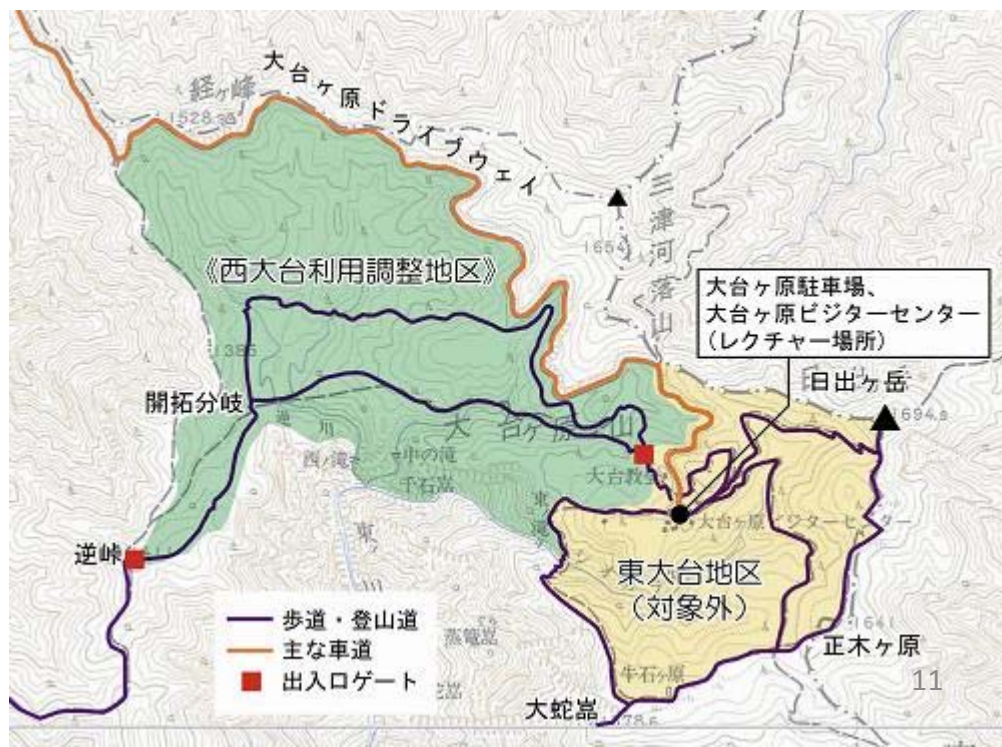
- アメリカ・カナダ(営造物公園)
- 日本(地域制公園)

● 2007年 エコツーリズム推進法(08年施行)

- 市町村による特定地域への立ち入り規制

2008/11/25

### 3. エコツーリズムの展開 ②大台ヶ原 (奈良県)

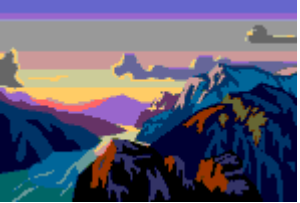




## 4. 課題はインタープリターの養成



- Interpreterの役割
  - 地域の自然や歴史・文化について高度かつ専門的な知識
  - エンターテインメント性
  - 参加者にルールの周知とその遵守を実現させる
- エコツーリズムの魅力
  - Interpretationの内容次第で強い誘客力を持てる。
  - 国内の多くの地域で行える。
  - ソフト面の創出なのでハコもの観光施設の建設とは異なり資金面での負担が少ない。
  - 地域主導で企画・運営できる新しい観光(地域ツーリズム)可能。



## 4. 課題はインタープリターの養成

自然ガイド団体「ピッキオ」(長野県軽井沢町)

➤ 1992年 エコツアーリズム事業

➤ 事業内容

- 野生動物の調査・研究
- ガイドやエコツアー
- 環境教育 (クマと人との共生)

➤ スタッフ(25名)

- Interpreter 11名
- 調査研究スタッフ 3名
- 野生動物保護スタッフ 7名
- 日本初のペアドッグ 2頭

➤ 第1回エコツアーリズム大賞

- (2005年 環境省主催)
- 4つの事業(保護管理・環境教育・エコツアー・調査研究)



# 西表石垣国立公園

公園制定	1972年（昭和47）
面積	<b>20,569 ha</b> <b>(拡張区域7,022 ha含)</b> <b>(2,056 sq km)</b>
観光客数	<b>150,000</b>
主な見所	<ul style="list-style-type: none"><li>•日本の滝100選(マリユドゥの滝)</li><li>•石西礁湖(日本で最大規模)</li><li>•さんご礁 363種</li></ul>
動植物	<ul style="list-style-type: none"><li>•イリオモテヤマネコ</li><li>•セマルハコガメ</li></ul>

2008/11/25



# 西表石垣国立公園

サービス(人・施設)	<ul style="list-style-type: none"><li>•ビジターセンター</li><li>•生物保護センター</li></ul>
問題点	<ul style="list-style-type: none"><li>•1980年 オニヒトデの大量発生</li><li>•1998年 温度上昇による世界的な珊瑚の白化現象</li><li>•陸から流入する赤土や生活排水</li><li>•イリオモテヤマネコの交通事故(2001年 年間5件)</li></ul>
対処方法	<ul style="list-style-type: none"><li>•2,002年 環境省 一自然再生マスタープラン</li><li>•2006年 自然再生推進法</li></ul>



# 期末発表のスケジュール Afternoon Class

講義	日	グループメンバー(学生番号)	題名
第8講	12月9日		
第9講	12月16日	新垣英之、金城大樹、武田裕之 永友、新里、大浜、宮平	第14章 第8章
第10講	1月6日	白浜未姫、たくしさやの、山城亜耶 金城、小林、大久保、なぎさ、くらます	第13章 第10章
第11講	1月13日	今井、ヤマカ、伊藤、久保	第16章
第12講	1月20日	當山、土持、山城	第17章
第13講	1月27日	東江、喜舎場、末吉、吉岡	第12章



# 期末発表の内容

Make a pair and conduct a **PowerPoint presentation** including the following points.

- Make a PowerPoint to explain what is discussed in the chapter that you have chosen.
  - Definition and characteristics of this tourism (e.g., green tourism)
  - History of this tourism
  - Explanation of two or three cases about this tourism in the textbook.
  - Problems of this tourism.
  - Solution to the problems (of this kind of tourism)
- Present a case study about this tourism in Okinawa or another familiar place of yours in the world.
- Include at least three other printed sources for your references. (web resources can be included but they are not sufficient.)

# 期末発表のスケジュール

## Night Class

- 第8章 ロケ誘致による集客力の向上
- 第10章 農村文化を体験するグリーンツーリズム
- 第12章 「食」による観光まちづくり
- 第13章 参加交流を楽しむイベントと祭り
- 第14章 定着しつつあるミュージアムツーリズム
- 第16章 買い物と観光振興
- 第17章 地域ブランドをいかに高めるか

講義	日	グループメンバー(学生番号)	題名
第8講	12月9日		
第9講	12月16日		
第10講	1月6日		
第11講	1月13日		
第12講	1月20日		
第13講	1月27日		

# 期末発表のスケジュール

- 第8章 ロケ誘致による集客力の向上
- 第10章 農村文化を体験するグリーンツーリズム
- 第12章 「食」による観光まちづくり
- 第13章 参加交流を楽しむイベントと祭り
- 第14章 定着しつつあるミュージアムツーリズム
- 第16章 買い物と観光振興
- 第17章 地域ブランドをいかに高めるか

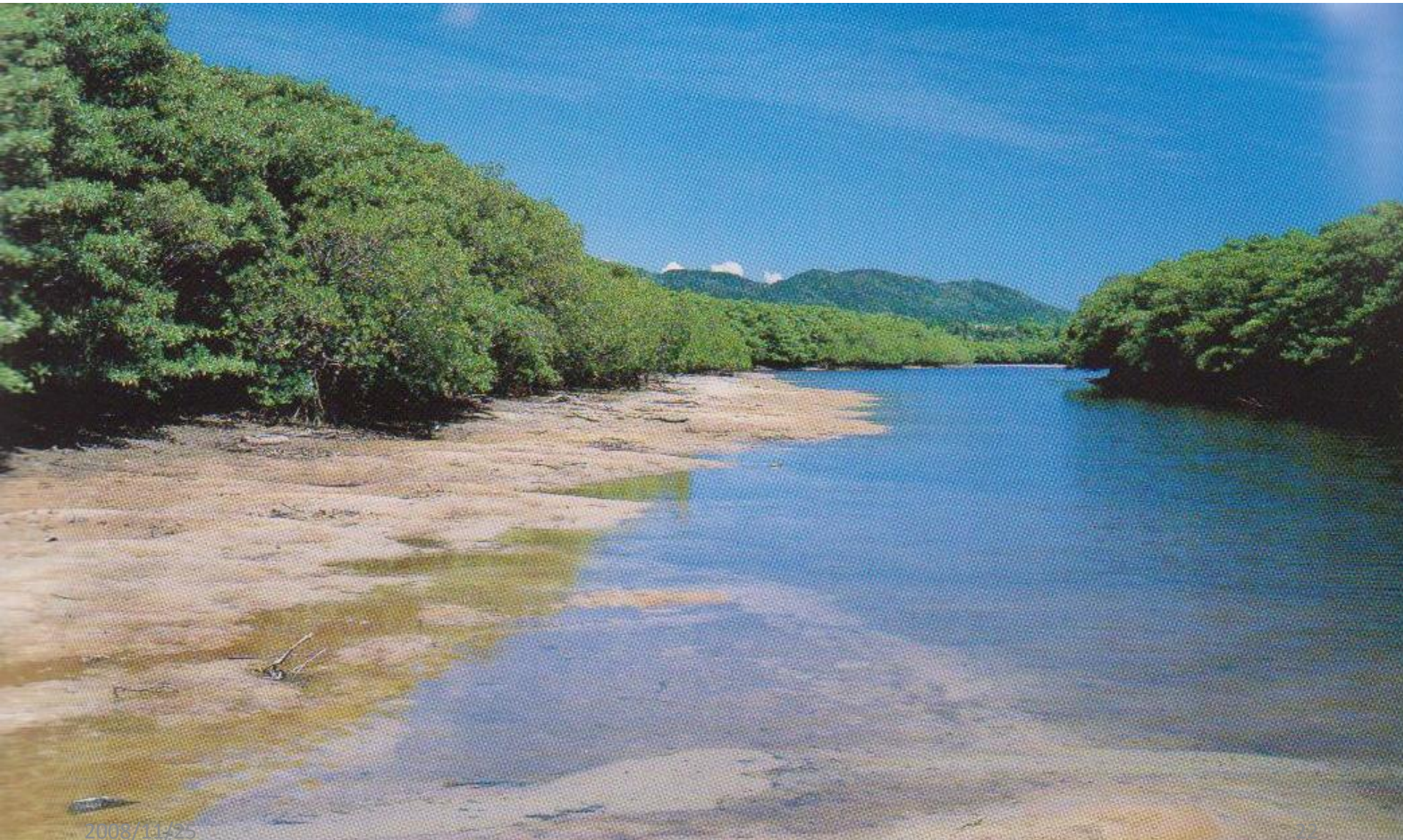


# Iriomote





# 西表・石垣国立公園





2008/11/25



2008/11/25





2008/11/25



2008/11/25



# Iriomote - Nature



2008/11/25

©M.Izaw

274